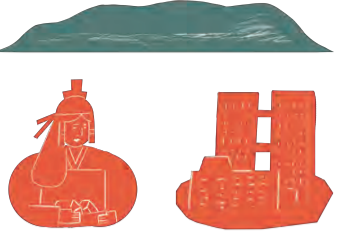


東ZINE



COVER



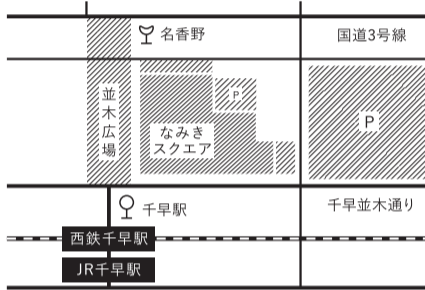
上:海の中道と陸続きの島、志賀島。左下:香椎宮に祀られている、神功皇后。右下:福岡の先進的モデル都市、アイランドシティ。

なみきスクエア

なみきスクエアクラブの活動拠点、なみきスクエアは、東市民センター、千早音楽・演劇練習場、東図書館、証明サービスコーナーなどの機能を持つ複合施設です。

ACCESS

〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号
JR鹿兒島本線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分
西鉄貝塚線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分



東ZINE vol.1 2021年9月27日発行 発行:なみきスクエアCLUB TEL 092-542-0224 HP <https://www.namiki-sq.jp>

子どもたちに体と心の栄養を 香椎下原のフードバンクと子ども食堂

「フードバンク」「子ども食堂」これらの言葉を聞いたことがあるでしょうか。初回は今だからこそより身近な問題「食べる」ことについてです。長年「食」の問題に関わってらっしゃる雪田千春さんにお話をお聞きしました。

聞き手:古閑慶治



まちスポ福岡東
事務局長
雪田千春さん

1961年北海道生まれ。「NPO 法人食育推進ネットワーク福岡」理事長、「おにぎり塾」塾長。今の子どもたちの経験的学習不足に危機を感じ、ふくおか子ども「おにぎり塾」を始める。食や教育に関する講師業・食に関するコンサルティング・無農薬野菜の販売仲介業・食品開発「自然の素(そ)」代表。「一般社団法人九州の食」理事、「ふくおか子ども食堂実行委員会」委員長、NPO法人フードバンク福岡元理事長なども務める。

フードバンクって？

フードバンクとは賞味期限内でまだ食べられるにも関わらず、印字ミスや箱が壊れたり、規格外として販売できない食品を、企業・農家・個人などから受け取り、食べ物に困っている人や福祉施設に無償で提供する活動です。

福岡にも
フードバンクがある？

2016年から「フードバンク福岡」が福岡県で出た食品ロスを県内で消費することを目指す、地産地消型を基本として「入り口が環境出口が福祉」の活動を行なっています。つまり年間621万トンにもおよぶ食品ロスを減らすことで環境を改善し、子ども食堂や福祉施設に食品の提供を行っているんです。ここ香椎下原校区にもフードバンクの拠点があるんですよ。

子ども食堂って？

子ども食堂と言っても様々ですが、私が最初に行ったアプローチは2つ。自分が食べるものは自分で作ることができ、「自立する」ことの育成を目指した「ふくおか子ども「おにぎり塾」(20

これからの食育について

子どもの貧困の問題を知り子ども食堂で居場所をつくって、そしてそれを円滑にする仕組みとしてのフードバンクなど様々な活動を行ってきました。その中で子ども食堂を手伝いに来てくれる中高生で包丁を握ったことがない人が多いことに気づきました。彼らは自分で「ごはん」をつくったことがないんです。つまり家庭の中で「ごはん」をつくって食べる文化が伝えられていないから作り方を知らない。「ごはん」ってただ単に栄養を摂取するものではなくて、もっと豊かなもので、冷たいものは冷たいうちに、温かいものは温かいうちに食べる。そして季節や食べる人の体調に合わせてつくる。そういう思いがこもったものだと思えます。そしてみんなで家族で食べてその日の話をする。この家庭の中のコミュニケーションの文化が伝えられていない。だからそれを知っている上の世代から学べる機会がなければ良いなと思っています。ご家庭内で「ごはん」をつくってみんなで食べる。忙しければ毎日じゃなくても週末だけでも、これが食育の第一歩だと思います。



15年)そして子どもの居場所をつくり「食べる」ことを学ぶ「いたきた子ども食堂」(2016年)これは福岡市内ではじめての公民館をつかった子ども食堂でした。もともと私は食育の仕事に携わっていたんですが、ある時スクールソーシャルワーカーの方から「夏休みになると学校の先生が生存確認のために家庭訪問をするんですよ。」というお話をお聞きし、これは深刻な問題が起きていると思いました。食育はより良い食を学ぶものなのに戦後70年以上たったいま食べられない子どもがいるのかと。

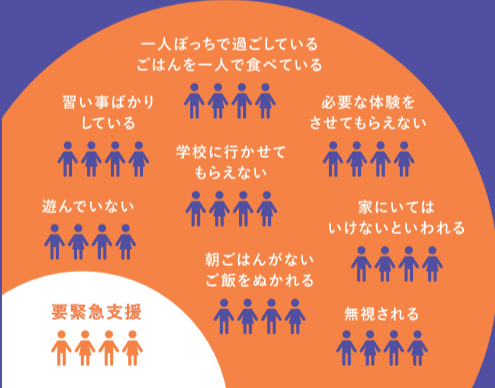


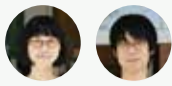
図1 日本の子どもの貧困のイメージ

子ども食堂を行う中で子どもの貧困は経済的な問題だけではないことが見えてきました。例えばある共働きのお医者さんのお子さんはとても体が小さく「ご飯を食べる量もすくすく少なかった。「お腹でも痛い?」と聞くと「食べることに興味がないんだ」そして生きることに希望がないとも。小学校2年生の子どもがです。

子どもの貧困は
心の問題が大きい

日本の子どもの貧困はお金の問題と思われがちですが、心の貧困も大きな原因です。9時から17時まで家にいてはいけないと言われる子、習い事はかきり遊べない子、一人でごはんを食べている子(図1参照)緊急支援が必要な子ども以外にもその周縁に心の貧困を抱えた子どもたちがいます。だからこそ「子どもの居場所」が必要なんです。

海辺の町にある、築100年の元時計店を改装した喫茶店/書店。自家焙煎コーヒー豆を丁寧にハンドドリップした一杯と「ずっと大切にしたい一冊」をテーマにセレクトした本がお楽しみいただけます。



「海辺に行く日」

本とコーヒーをつれて



外出となるとすぐに車に乗りたがるので、散歩と決めただけで健康になれる気がする。冷蔵庫の水出しアイスコーヒーを水筒に移し、海辺のベンチへ徒歩10分。日差しが強く、気温も高かったので短時間の散歩になった。ぶらぶらと歩き、よく冷えたコーヒーを飲み、海の写真を撮った。彼女は本を読んでいた。車で走り慣れた道も、歩くとき新しい発見がある。その発見が何であるかを言葉にするのが難しいので、「楽しかった」だけでいいやと思った。



風が気持ちよい日に、コーヒーを持って散歩に行くことにしました。せっかくなので、丈夫なガラスのコップをふきんに包んで準備しました。私たちの住む西戸崎は半島のような地形で、歩いて5分ほどで海辺へ出られます。今日のお供の本は『ともだちは海のおい』。物語に登場するくじらやいるかは、近くの友人との日々を大切に、いつもおだやかに暮らしています。海を眺めながら、ひととき、彼らに仲間入りしたような気持ちになりました。



西戸崎緑地：〒811-0321 福岡県福岡市東区西戸崎3-4-25

ナツメ書店

Sleep Coffee and Roaster

かこを調べて、みらいを推理

みらい探偵団



こどもたちが過去を調べて今をみつめなおし、身近な街のちよつと遠い未来を推理する「みらい探偵団」の活動がはじまりました。最初のフィールドに選ばれたのは、長い歴史をもつ香椎宮。権禰宜の木下英大さんご案内のもと、そこであつて当たり前前の場所、素朴な「なぜ」をさぐってみました。探偵たちがまとめた調査報告を、テキスト・写真・イラストで紹介いたします。

神社でみつけたハートの正体
中村ゆり 5年生



上にハート形があります。そのハート形はげぎよといひます。げぎよは、昔魚の形をしていたけど、きりすときょうがやってきたときにげぎよはハート形になったそうです。これから、げぎよは、ハートからどんなげぎよになるか楽しみです。

これからの「みらい探偵」
山手えま 2年生

香椎宮権禰宜
木下英大さん

福岡県福岡市生まれ。東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻卒業後、國學院大学神道文化学部神道学専攻科を修了。現在は美術作家として、福岡県香椎宮神職として、両分野をハイブリッドしながら活動中。



楽器の意外な役割
日高みこと 5年生

昔は、時計がありませんでした。なで、一定の時間をたいていこをならしていました。今、現ざいも午前六時にたいこをなら



香椎宮の御神木の綾杉
田中あやこ1年生

しています。これからのたいこの時計を続けて欲しいです。

結成！みらい探偵団

なみきスクエアを拠点に活動する「遊びと学びのコミュニティスクール」。年間を通して様々な体験や活動に取り組みんでいます。この記事は、スクールに参加している子どもたちが取材・執筆しています。 ※こどもたちの発見は必ずしも歴史的に正しいわけではありませんが、こどもの視点による見解として掲載しています。



なみきスクエアCLUB

なみきスクエアCLUBは、自分の好きなことや得意なことをかけ合わせながら、みんなのアイデアを形にしていける創造的な活動です。「アートイベント」「遊びと学び」「はじめての○○」「ひろばづくり」の4つのテーマで活動しています。

なみきスクエアに開校した、新しいアートスクール

九州を拠点として活動するアーティストが講師となり、多様な芸術表現のあり方や、柔軟な思考法、そして基本的な造形表現の技術を学ぶことができます。様々な思想、人種、生き方が混ざり合う時代の中で芸術を通して世界の多様性を学び、芸術の可能性を共に探求していきます。

【日程】1学期：5/1-7/25、2学期：9/4-11/28、3学期：12/4-3/6
芸術表現コース：隔週日曜日 13:30-16:30
造形表現コース：隔週土曜日 13:30-16:30
【受講料金】通年65,000円、1学期単位(3ヶ月)25,000円
【対象】15才～ 【定員】各コース15名
【お問合せ】TEL：092-542-0224 Mail：info@kodomo-abc.org



楽しく学びながら、たくさんの成長を 遊びと学びの コミュニティスクール

「遊びと学びのコミュニティスクール」では、こどもたちが様々なクリエイターと一緒にワークショップや、地域の歴史や物語を人の記憶を通して学びながら、未来をみんなで考える「みらい探偵団」の活動を行います。そして、その中で得られた学びや経験を活かして一つの舞台公演を作り上げていきます。本スクールではより多様な学びを目指し、こどもの主体性や協同性、コミュニケーション力を育みます。

【お問合せ】TEL：092-542-0224 Mail：info@kodomo-abc.org

<https://www.namiki-sq.jp/club/>

東区で食べる

東区で食べるスパイス料理

料理研究家の宮村ゆかりさんがスパイス料理のレシピと東区のスパイス料理のこぼれ話をご紹介します。

料理家
宮村ゆかりさん

千早を拠点にスパイス料理やローフードの料理教室「ミヤムの恋するcooking」を主宰。栄養士として栄養指導、レシピ開発、ケータリングなど料理家として活動中。なみきスクエアの子育て支援事業ババスクールの講師をするなど料理を通して幅広く活躍している。

Spice Recipe Vol.1 ゴーヤのポリヤル

南インドでカレーのおともに欠かせないのが野菜をスパイスで炒めたトールンやポリヤル。スパイスを加えて炒めることでいつもの炒め物がぐんと本格的に。

- 材料/4人分
- ゴーヤ…1本 (縦半分に切り、ワタを取ってスライス)
- マスタードシード…小さじ1/4
- 赤唐辛子…1本
- 生姜…1片(千切り)
- ターメリック…少々
- ココナッツファイン…大さじ1
- 塩…小さじ1/4
- 植物油…大さじ2



- フライパンに油をひき、マスタードシードを入れてパチパチと爆ぜるまで温める。唐辛子も加えて香りを出す。
- ゴーヤと生姜を加えて、塩、ターメリック、ココナッツファインを加えて炒め合わせる。水を少し加えて蓋をし、ゴーヤを蒸らす。塩で味を調べて完成。



ポリヤル



カレー

暑い夏こそ、スパイスカレーを食べて元気に過ごしたい。東区には、カレー店が多くあり、スパイスチャージをするにはもってこいの地区だ。流行りのスパイスカレーだが、実はジャンルは様々で欧風風やスリランカ風、インド風、パキスタン風、スープカレーや創作スパイスカレーなどたくさんのジャンルがある。そしてこの東区には、ほとんどのジャンルがそろっている。カレー好きには是非おすすめしたい地区だ。今回紹介するのは、南インドのカレーだ。南インドというと暑い国でカレーもさぞからいであろう、と思いきや。こちらのカレーは驚くほどにやさしい味。南インドの母の味といった感じだ。店名にもある南インドのケララ地区はココナッツや魚介が特産でカレーもココナッツをベースに野菜、魚介のうまみを感じる。特に私のおすすめはインド風炊き込みご飯の「ピリヤニ」と一皿でいろいろな味が楽しめる定食のような「ミールス」だ。暑い国では、辛すぎるカレーは逆に疲れてしまうので、味噌汁のようなやさしいカレーの方が好まれるらしい。やさしいカレーで健康的に暑い夏を乗り越えるのもおすすめかと思う。

協力：KERARA INDIAN RESTAURANT (ケララインドianレストラン) 画像提供